

公園のトイレ改修

問 大築 守議員 鶴ヶ岡中央公園のトイレの改修は。
答 公園内にトイレを設置する場合は、ユニバーサルデザインを考慮して設置することになり、工事費が高額になる。財政担当と調整し、実施に努める。



改修が望まれる公園のトイレ

公民館・体育館など 公共施設の耐震診断を

問 新井光男議員 昭和56年以前に建築された公民館や体育館は、耐震診断を実施していない。多くの市民が利用する施設なので診断を行い、

結果を公表して、補強の必要がある場合は、計画的に工事を行うべきでは。

問 上福岡公民館 大井中央公民館、大井総合体育館は多額の工事費がかかり、財政計画との調整が必要。保全管理計画を策定して検討する。

鶴ヶ岡地区市道の整備

問 有山 茂議員 市道第2-2号線、日清製粉付近の歩道整備について。

答 都市計画道路として整備をするには、企業所有地や民地の一部用地確保が必要。用地の確保ができた部分を暫定的に整備している。用地を取得次第、歩道を含めた整備を実施したい。

歩行者信号の設置を

問 大築 守議員 県道56号線、くら寿司前と、しまむら前の交差点への歩行者用の信号機設置については。

答 県警に要望している。商業施設に近接しており、通学路にも指定されていることから、歩行者の多い交差点であり、重ねて要望していく。

通学路の安全点検と緊急対策を

問 新井光男議員 通学路で児童が巻き込まれる死亡事故が全国で相次いで起きている。ソフト・ハード面の具体的な取り組み、学校やPTAなどとの連携をすべきでは。

答 学校で保護者の協力を得て、通学路の総点検を実施した。その結果、危険がある45カ所を抽出し、路面標示の補修など9カ所の対策を行った。未整備箇所が30%あるが、用地買収を必要とする場所もあるので順次対策を進める。

交差点の安全対策

問 堀口修一議員 優先順位が判明しにくい交差点は、事故の大きな要因である。ヒヤリ体験の収集による危険箇所の把握や、優先順位を明確にする道路整備は。

答 各学校区の「地域の安全マップ」や、県から提供されるカーナビデータ等を活用して危険箇所の把握に努めていきたい。また、ドットラインやカラー舗装を施し、優先順位を明確にする路面整備を

行っている。

元福岡地区の雨水対策

問 大築 守議員 元福岡一丁目地区の雨水対策は。

答 水害を防ぐためには、排水機場や貯留式調整池等を整備していく必要がある。多額の費用が必要で、難しい状況である。上流部分で宅地内処理を進め、一極集中を回避し、対応していく。

土地開発公社所有地の活用を

問 足立志津子議員 土地開発公社保有地の未活用を解消し、市の財政負担の軽減を。

答 土地開発公社の計画に基づき、買い戻しに努める。

ヤマハ工場南側の歩道整備を

問 伊藤初美議員 公共施設に通じる道路で、交通量も多い。道路を拡幅し、歩道の整備ができないか。



道路整備が待たれるヤマハ工場南側

答 都市計画道路予定地となっているので、用地確保に向けてヤマハ株式会社と交渉する。

福岡高校施設利用は

問 有山 茂議員 大井高校・福岡高校の統合後、福岡高校の施設利用の検討状況は。

答 現在、福岡高校のグラウンドや体育館は、市内外の登録団体に利用されている。今後の県の活用方法は決まっていない。

誇りの持てるまちへ...まぢづくり

11月1日は「古典の日」

問 堀口修一議員 11月1日が「古典の日」と定められた。市及び学校教育としての取り組みは。

答 図書館だよりにおいて、古典の日が制定された由来を紹介するなど周知に努めている。また、万葉集などの古典を掲示したり、朝の会で枕草子を読むなど、全学年での取り組みを行っている学校もある。今後は「古典の日」を契機に、より一層、古典に親しむための周知・啓発を図っていく。

文化芸術基本条例の制定へ

問 岸川彌生議員 文化芸術基本条例の制定に向けた取り組みが進められているが、今後は。

答 市内文化団体や市民の文化・芸術に対する意見を聞き、条例制定に向け、進めていく。

自治基本条例の目的は

問 民部佳代議員 市民協議会が起草した自治基本条例の素案が示されたが、最終的に議会に上程するのは市。市が考える条例の目的は。

答 課題を解決するのに行政主導で地域が働くのではなく、地域が主体となって汗を流し、行政を動かすような仕組みづくりが今後必要になる。それが条例制定の目的である。

公契約条例の制定を

問 民部佳代議員 公契約条例は働く人の労働環境を守るだけでなく、公契約に携わる人の質を確保できる。市でも条例を制定しては。

答 国で法律を制定すべきと考ええる。

協働を進める職員とは

問 鈴木啓太郎議員 協働というスタイルが、ようやく本市にも浸透してきたが、職

営農支援策は

問 有山 茂議員 農業に従事している若者たちに、意欲の沸く支援策の考えは。

答 営農団体に対する補助以外にも、土壌消毒剤購入や農業用廃プラスチック処理の補助金の交付をしている。

問 農産物のブランド化への支援は。

答 ほうれん草の「菜食美人」がある。さらに、現在生産されている農作物に減農薬や有機栽培等の付加価値をつけてプ



今が旬！ほうれん草出荷の準備中

員の間での理解を深めることが重要ではないか。

答 協働事業へのマニュアルの作成を進めているところだが、さらに市民とともに地域の課題に取り組むことのできる職員の育成を行う。

耕作できない農地のサポートを

問 山田敏夫議員 高齢化や跡継ぎがなく耕作できない農地をサポートなどに委託して、地域農業を守ることはできないか。

答 現在、農業委員会を中心に担い手の確保や農用地の利用集積及び集団化に努めてい

「ふじみん」のさらなる活用を

問 小林憲人議員 「ふじみん」をさらにうまく活用する上で、「ふじみん買い物袋」も考えられるが検討は。

答 収税課では口座振替申込者へ「ふじみんバッグ」の限定配布を行った。今後も「ふじみん」を載せた買い物袋の作製を考えたい。

【訂正とお詫び】

前号の「議会日誌」において、「岩手県登米市」とあるのは、「宮城県登米市」の誤りでした。お詫びし訂正いたします。